



カテゴリ: 地域活性化

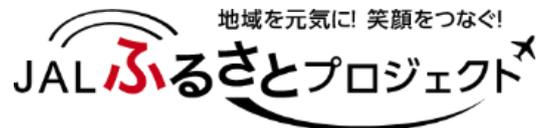
2024年度もJALは東亜大学と連携し、地域創生を目指します

JALは、東亜大学(所在地:山口県下関市、学長: 櫛田宏治)と2020年8月に締結した連携協定に基づき、今日までさまざまな活動に取り組んでまいりました。このたび、2024年度の初回プロジェクトとして、「JAL向津具(むかつく)ダブルマラソン」におけるエイドステーション(給水・給食所)を共同で運営します。

共同でのエイドステーション運営は今回が4回目で、当日は、東亜大学からの学生57名が参加し、JALの社員を含めて総勢100名を超えるスタッフがランナーの皆さまと大会を盛り上げます。

これからもJALと東亜大学はより一層連携を強化し、地域の皆さまとともに活動してまいります。

記



【これまでの取り組み】

- ・2020年から計5回、ネイルシールの共同制作を実施。
- ・2019年、2022年、2023年の計3回、JAL向津具(むかつく)ダブルマラソンでのエイドステーション共同運営を実施。

【「第8回 JAL向津具(むかつく)ダブルマラソン」でのエイドステーションの共同運営概要】

●大会概要

- ・大会名 : 第8回 JAL向津具(むかつく)ダブルマラソン
- ・日付 : 2024年6月9日(日)
- ・開催場所 : 長門市油谷地区、日置地区、他
- ・主催 : JAL向津具ダブルマラソン実行委員会

●エイドステーションの運営場所

- ・「エイド5」(千畳敷)におけるエイド(飲食)、救護所の運営
- ・「給水所11」(路上)における給水所、救護所の運営
- ・「油谷勤労者体育センター」におけるマッサージエイドの運営

●特徴

- ・救急救命士、柔道整復師、美容師等のプロの卵が、東亜大学の強みとする専門性を活かしたエイドステーション運営を行います。



以上